

# 研修だより

糸島市立一貴山小学校  
平成26年9月22日（月）  
学力アップ部

## 1年1組の子どもたち、西野先生ありがとうございました！

一年生の子どもたちが、一時間集中して、意欲的に学習している姿がとてもすばらしかったです。「話す・聞く・書く」という言語活動のどれもがとても上手でした。西野先生が日常的に的確に丁寧に指導されてあるからですね。特に、子どもの活動に対して、ひとつひとつ、声かけして評価されてあることで、子どもたちは、意欲を高めているのだと感じました。運動会が近い大変な時期に授業公開して頂き、ありがとうございました。

【単元名】 「みいつけたカード」を書いて「みいつけた発表会」をしよう

【教材文】 みんなでよう「みいつけた」

【本時目標】

- 「どうしたらせみをみつけることができるか」の問いを理解し、答えにあたる部分を読み取ることができる。

【本時展開】

1 学習課題をつかむ。

- (1) 本時までの学習を想起する。
  - だんごむしの見つけ方について振り返る。

・「どこにいるか」・庭や公園  
・「どんな生き物か」  
・「どうしたら見つけられるか」

・既習図の掲示

- (2) 本時のめあてをつかむ。

せみのみつけ方を読み取ろう。

2 学習場面を音読する。

- (1) 5, 6段落を一齐に読んだり、交代で読んだりする。
  - ・教師に続いて ・教師と交代で ・友達と交代で

3 せみの見つけ方を読み取る。

- (1) 3つの観点（居場所・特徴・見つけ方）に沿って読み取る。
  - ・問いに対する答えがわかる文にサイドラインを引き、ワークシートに抜き書きをしてまとめる。

※黒・赤・青の3色で3つの観点を引く

- (2) 「どうしたらせみを見つめることができるか」をインタビュー形式で確認する。

・ペア交流

4 全体で確認する

- (1) 言葉「えだのみき」を知る。
  - ・木の写真とせみのペープサート

- (2) せみに関する経験を話合う。

・せみの鳴き声＝ICレコーダー

- (3) 本字学習のまとめをする。

まとめ  
せみは、木の幹や枝で、声が聞こえるところを探すと見つけることができます。よく鳴くからです。



【音読する様子】



【意欲的に挙手する様子】



【書く活動の様子】

## （西野先生の自評）

- 子どもたちは、運動会の練習がハードで疲れているが、よくがんばって学習した。
- 「問いの理解」に関しては、全員挙手できていたので達成できた。
- 「答えに当たる部分の理解」に関しては、前時を振り返りながらよく理解できていた。
- 文末表現に着目させることができたが、終わりの方は、時間の都合でできなかった。
- 挿絵と写真により、「えだのみき」を理解できた。
- ペアでみつけたことを出し合う場面は、せみに興味が薄く、経験も少なかったようだ。

## 【協議会で話し合ったこと】

- 文末表現に丸をつけてあったので、これに気づかせることで書く活動につながった。
- サイドラインを色分けして、定規できちんと引いていてすばらしい。
- インタビュー交流では、相手の反応をよく聞いていたのでよかった。他教科でも活用できる。
- 「枝と幹」の指導で、挿絵と叙述の関係は大切だと感じた。写真も使ってあってわかりやすかった。
- 単元のゴールである「みいつけたカード作り」では、自分が知っていることを書くので意欲が高まる。
- サイドラインと対応して、学習プリントの枠の色を「黒・赤・青」と色分けしてあり、わかりやすかった。
- 事前の授業準備では、セミがとても大きかったが、当日は変わっていた。作り替えてあり、すばらしい。
- サイドラインの色分けにより、順序を意識することができ、効果的であった。
- 次の「バッタ」の段落は難しい。どのように指導するか？
  - ① 文章を3つの観点に当てはめるという逆思考で発問する。
  - ② 誤答を提示し、考えさせる。
  - ③ 「今までの文章との違いはどこか？」を発問する
- 学習計画がきちんと掲示してあり、単元全体の見通しをもつことができている。単元のゴールを意識させておくことは、低学年から大切なことである。
- 1年生の実態を考えられて、3つの観点に対する読み取り方に焦点化させるために、せみに対する経験の話合いやせみの鳴き声を聞かせる活動を終末にされたが、導入でされると、自分の経験と比較しながら説明文を読み深めることができる。

## 【松尾指導主事の主な指導・助言】

演習や本時学習の板書の写真を用いて、「説明文の授業づくり」について具体的にわかりやすく指導して頂きました。

### ① 他で使える読み方を身につけさせること

- ・教材の内容を理解させるだけでなく、説明文の読み方を学び、他で生かすことができるようにすることが目的である。

### ② 教師が教科書（てびき）をよく読み、教材研究すること

- ・教科書をよく読み、特に「てびき」を読み込むことで、学習のゴールを決めたり、どんな活動を仕組むかを決めたりすることができる。

### ③ 子どもにわかる言葉で説明すること

- ・手順で説明すること。「調べる読み方」とは、①情報を取り出す活動（サイドライン）→②情報を関係づける活動（表にまとめる）→③考えを表現する活動（表現物）の流れである。



【写真とペープサートの活用】



【ペアでインタビュー活動】



【学習計画と既習図】